

小學校より見たる幼稚園

加藤末吉

毎年四月就學の期に來り迎ふる處の兒童の三分の二は幼稚園保育をうけたるものであるから是非之を取扱ふにつきては幼稚園保育の狀況をくはしく見その間の連絡を保持したいものであると思ふて居りまするまだその機會がないので甚だ残念に存じます。就ては小學校より見たる幼稚園をかれこれ申しますのも如何はしき次第、とかくは小學校に重きを置く傾きなきにしもあらずすかその邊は御容赦を願ひます。

まず幼稚園より來らざる者をさして普通の幼兒といひ此普通兒に比して幼稚園出身者は入學當初は如何狀態なりやといはゞ

曰はくたしかに優良なり然れども時日を経るに從て同一様になる事もたしかなり。これは毎年の結果然る事をたしかめられたり

當初吾人が管理上につきて比較的感は如何

教師を困らすものは幼稚園より來れるものなり。

とこれ若し全部が幼稚園より來れるものならんには此弊は認めざるへし。たゞ三分の一の普通幼兒に對し三分の二の幼稚園出身者の勢力のまされる教育的に明かなる處なるが、後者は已に知れる事項を前者の爲めに犠牲になり取扱はるゝがためにつまり普通幼兒と水平の地位にあらしめんがために心竟に餘裕を與へられ惡戯を工夫し出すの時を與へらるゝ結果教師の命に従はぬに至れるなるべし。されど兎に角教師をして管理上に方を用ひしむるものは幼稚園より來れるものなり

小學校時代を卒へ中學にすゝむ時に於て兩者の結果如何。

これたれ人も知らんと欲せらるゝ處なるべし

百人ニツキ	美	良	可
幼稚園出身者	二人四分	四人	四人七分
普通のもの	二人二分	三人二分	三人九分

右により見れば概して幼稚園より來れるものは成績佳良なりといふをばいからざるべし。

本年來れるものも運動を好み快活にボール投げは巧みにそのなす處としてよく遊ぶも比較的欠席する事容易にして度數多し。これにより考ふるに幼稚園あるによつて兒童の健康を今日の如くなされたるものにして若しこれなくば此欠席者より多くして吾々の困難も倍せしものなりしならんと思はれ、其保姆關係者の辛苦の程も推察せらるゝ次第なり。

今其優劣の點を列擧するに

- (1) 優れる點
- (1) 言語明瞭なり然れども團躰の下品の詞交れり
- (2) 万事万端によく氣がつく兒なりされども早熟の風なきにあらす
- (3) 羞かむ事なしこれがため小學校に來りても直に教授をうけ得らるゝ態度となれり
- (4) 唱歌の耳を持てりされば唱歌を習ふて容易なり

(ロ) わしき點

- (1) 兎角物知り顔にて不注意にきゝながす風あり
- (2) 何かせずには居られぬ風にていたづらをなす之れ活動力溢るゝが故なるべきも正當の訓練により守るべきに守らしめ數分間の注意の集注を習情たらしめば此風を去り得べき乎
- (3) 名譽心つよく級長などになす事あれば得々然たるその心中には名譽のよろこびと共に傲慢心はさざゝれたるを見うける
- (4) 命令を二度くりかへさしめたくりかへさしむる處のものは幼稚園の幼兒なり服従は第一の教育なり然るによれば教育をうくる心的状態には程遠くなれり
- (5) 話を横道に入るゝはまた此の兒童なり例へば日曜日に動物園にゆきしが猿が居ましたと話せば熊も居ました何も居ました何時か淺草でも見ました淺草には何々がありましたとの如きなり
- (6) 靴のひものとくるは幼稚園よりものものに多し

(7) 歌の時目の散ずるは幼稚園の出身者なりこれ

注意散漫するが故なり

取りあげて見れば以上の如し。さらば全然教師の扱ひにくき兒童は幼稚園出身者なるかの概あらんも然るにわらず。家庭より來れるもの、中には天真爛漫なるものあれども、また祖母その他年長者によりて育てられ爲めに六づかし漢宇を知りまた教を多く覚え居り高慢となれるものもあり、また家庭に於て母を専有するか如く教師を専有せんとする風ありて、扱ひに困しむ点は同様にして差別ある事なし。

概して幼稚園に於ては教へすぎる。早熟にならしむる風あり、女々しき点ありといはん。

家庭は己れの手をすこしにても知者になさん利巧者ならしめんと欲して幼稚園に向つても注文する處多かるべし、これに對してすこし教へすぎる事

わらずや。

幼兒はいまだ野蠻的利己的のものなり公德を重ん

じ道義を辨へしむるには程遠き年齢、然るに是非良徳禮儀を守らしめ行はしめんとする、強ふるにわらずは何ならん、教ふるに過ぐる一点なるべし。

然らば小學校に於ては如何にして取扱ふや常々幼兒の發達に省み幼兒の最も信頼せる本尊即恐怖の時も悲しき時もうれしき時もわからぬ事も父母によりてなぐさめられ教へられつゝ來れる者なれば家庭にわりては父母學校に於ては教師其本尊となり、すべてこれに模倣せしむるの方針とれり。

教師が高くともまりて正しき行、正しき語にて接し、腰をかくるにも先生のやうに、御禮儀をするにもまづ先生のやうにこれ位になさしむる事をつとむ、家庭のよき處否上流の家扶家令によりて育ちしものは常々あまりに説明を加へてあつかはれ、祖母育ちのものも常に大人らしく説明を加へて、前者は若様左様遊ばすと御爲めがよろしうござり

ませんからおよし遊ばせといひ一々道理を以てと
 き、老人はかゝる事をなしては斯くなる故にして
 はならぬとくどくといひきかされて育つが故に
 小供らしき處を失へり。小供は小供らしきがよし、
 大人と見まかふやうにしてはならぬ、そこで小供
 をわつかふに小供の模倣想像力の強き處をつかひ
 て、常に教師はその模範として一舉一動をゆるが
 せにせず、教授するに於ても徒らに教科書に抗泥
 せず、同様に教師を中心として教師の身邊の出来
 事、家庭談をなしてその間に於ける禮儀によりて
 兒童にもわれも然かなさんとの模倣の念に訴へて
 躰けをなし、推究心に訴へし思考を養ふの方法を
 とり初年級を取扱へり。

斯様の取扱ひをなすに就ても教授をうけつゝある
 ものは注意する事必要なり、教授の行はるゝは注
 意の有無によりてなるものなり、されば幼児が人
 の話せる間注意し得るの習慣を幼稚園時代につけ
 られなば幸ならん、これを養ふためには注意集注

の時間を長くせつしてその注意すべき事項につき
 ては充分傾注するやうに話するにも方に強弱をつ
 けてなさん事を要す。

また共同の團體中に於ける禮儀を躰けおかれん事
 を欲す例へば出席簿記入の間自分がすめばやかま
 しくするが如き事なからんやう注意しつゝ此禮を
 知らしむるが如きなり。

又常に同時に多くを要求せずして一時一事とする
 やうにありたし然らざればたゞ口やかましくさゝ
 ながさるゝのみなればなり

種々遠慮なく述べたるが事の適否は御考の中に取
 捨せられん事を乞ふ

